

平成29年度 第1回越谷市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会 会議録

平成29年8月23日（水）14：00～

中央市民会館4階会議室A B

○委員定数（15名）

○出席委員（11名）

松本 實	委員	越谷市私立保育園・認定こども園協会
佐藤 勝	委員	越谷市民生委員・児童委員協議会（理事）
會田 容子	委員	越谷市子ども会育成連絡協議会（会長）
渡辺 寛子	委員	越谷市子育てサークルネットワークの会（幹事）
大西 孝一	委員	越谷商工会議所（常議員）
中台 正弘	委員	越谷市小学校長会（越谷市立蒲生第二小学校 校長）
市村 洋子	委員	埼玉県立越谷西特別支援学校（校長）
遠藤 和幸	委員	埼玉県越谷児童相談所（所長）
櫻井 慶一	委員	文教大学（人間科学部人間科学科 教授）
清水 孝代	委員	越谷地区労働組合協議会（幹事）
久保 信一	委員	公募委員

○欠席委員（4名）

竹村 厚子	委員	越谷市私立幼稚園協会（大袋幼稚園園長）
大村 純一郎	委員	越谷市医師会（理事）
鈴木 実	委員	越谷市PTA連合会（理事）
長友 祐三	委員	埼玉県立大学（保健医療福祉学部社会福祉子ども学科 教授）

○事務局出席者

渡邊 浩秀	子ども家庭部長	藤城 浩幸	子ども家庭部副部長(兼)青少年課長
関根 正和	子育て支援課長	野口 広輝	子ども育成課長
渡辺 真浩	教育総務課長	福岡 敏哉	児童発達支援センター所長
稲橋 利幸	児童館コスモス館長	根岸 あやに	市民健康課副課長
阿部 伸也	子ども育成課調整幹	松村 一男	青少年課 調整幹
中村 光邦	子ども育成課副課長	小澤 幸太	子ども育成課主幹
八田 彩起子	子ども育成課主事	小拔 麻衣子	子育て支援課副課長
中村 則行	子育て支援課副課長	杉内 麻里子	子育て支援課主事
阿部 麻里絵	子育て支援課主事		

1 開会

※配布資料確認

- ・次第
- ・委員名簿
- ・越谷市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
- ・子ども・子育て支援事業計画等に関する中間年の見直しについて
- ・小規模保育事業(平成29年11月開設分)の公募結果及び認可・確認について
- ・平成30年4月開設予定の施設について
- ・保育所公募(第2次)の結果について
- ・保育所公募(第3次)の中間報告等について
- ・統計資料
- ・保育関係参考資料

※司会(事務局)より傍聴人の報告

2 議事

※越谷市社会福祉審議会条例第6条第2項に基づき、櫻井分科会長が議長となり議事進行する。

3 (1)協議事項

- ①越谷市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
- ②子ども・子育て支援事業計画等に関する中間年の見直しについて
事務局詳細説明(子育て支援課 小拔副課長)
- ③小規模保育事業(平成29年11月開設分)の公募結果及び認可・確認について
事務局詳細説明(子ども育成課 阿部調整幹)

(2)報告事項

- ①平成30年4月開設予定の施設について

- ②保育所公募（第2次）の結果について
- ③保育所公募（第3次）の中間報告等について
事務局詳細説明(子ども育成課 阿部調整幹)

質疑等(要旨)

3-1) ①越谷市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

- 委員 妊婦健康診査における量の見込みが2,800となっていますが、実績をもとに3,000程度を見込んでよいのではないのでしょうか。
また、乳児家庭全戸訪問事業ではどの程度子どもたちの状況を把握できているのでしょうか。訪問数に含まれないケースにはどういったものがありますか。
- 事務局 全戸訪問事業では、訪問を拒否される等会えなかった場合は訪問数に含んでおりません。会えなかった場合でも、その後の1歳6か月健診及び3歳児健診でフォローできるよう努めております。
- 委員 保育園の待機児童は解消されつつあるように思いますが、学童保育室の待機児童解消についてはどうお考えですか。
- 事務局 平成27年度から対象が拡大されたことにより、学童保育室の待機児童は高学年に多く、継続して利用を希望する4年生で特に多くなっています。公共施設等総合管理計画で建築物の22%削減を目標としていることから、新たに施設を建設することは難しいため、転用可能教室等を利用することで解消を図っていければと考えております。
- 委員 利用者支援事業の量の見込みと確保方策はどちらも1箇所とされていますが、実際に相談があった件数はどれくらいですか。
- 事務局 保育施設を所管している子ども育成課で相談を受け付けているため、量の見込みと確保方策は1箇所としております。相談件数についての詳細な数字は持ち合わせておりませんが、年間を通して毎日10件以上の相談を受けております。
- 委員 平成27年度と平成28年度の相談件数はどれくらい増減がありましたか。
- 事務局 保育所の利用希望の増加に伴い相談件数も増加していると認識しております。
- 委員 全戸訪問で見守りが必要とされるのはどういったケースで、割合としてはどのくらいですか。また、ひとり親世帯や母親が若年の世帯へのアプローチはどのように行っていますか。
- 事務局 助産師による訪問で継続した支援が必要とされたケースの他、お子さんが低体重で生まれた場合や、妊娠届を提出した段階でひとり親や若年の場合には見守りが必要と判断しています。継続して訪問をする場合は保健師が対応しており、妊娠期からお子さんが4か月になるまでは頻繁に訪問、その後も健診や予防接種の状況を確認しながら

見守りを行います。1歳を過ぎても積極的な訪問が必要なケースもありますが、割合としては5%未満です。

委員 子育てサロンは子育て相談、子育て講座、子育てひろばの3項目で参加者をカウントしていますが、子育て支援センターでは子育て講座のみのカウントとしている理由は何ですか。

事務局 子育て支援センターでは幅広く事業を実施しておりますので、子育て講座の参加者のみを地域子育て支援拠点事業の実績としてカウントしております。子育て講座の参加者数には、子育てひろばや子育て相談の参加者も含まれておりますので、子育てサロンと同様に子育て相談、子育て講座、子育てひろばの実績を合わせたものとなります。

会長 児童館は子育て支援拠点には含まれないのでしょうか。

事務局 越谷市の児童館は児童厚生施設に近い形態のため、子育て支援拠点には含んでおりませんが、児童館で開催している子育てサロンは子育て支援拠点に含まれております。

3-1) ②子ども・子育て支援事業計画等に関する中間年の見直しについて

委員 見直しの際には、子どものいる世帯がどういった期待値をもって転入してきたのか、共働き世帯の通勤経路等を含め考慮する必要があるように思います。また、点検項目としても出生数と転入数を加えるべきではないでしょうか。

委員 学童保育の待機児童は最大でどの程度なのでしょうか。

事務局 平成29年4月1日現在の待機児童数は、1～3年生で82人、4～6年生で167人となっており、そのうち105人が4年生です。大規模な区画整理事業が行われている地域では児童数が増加し、それに伴い待機児童数も多くなっておりますが、学校の仮設校舎を建設する際にあらかじめ学童用の教室を確保する等、2室化により対応しております。なお、越ヶ谷小学校においては仮設校舎も通常の教室として使用することとなったため、現在は高架下に移転しております。

委員 区域設定の変更について、市全体で1つの区域とするのも1つかと思いますが、3～5程度の区域を設定するという考えはあったのでしょうか。また、利用者支援事業の変更で1箇所増えるものは子育て世代包括支援センターという解釈でよろしいですか。

子育て短期支援事業について、平成27年度及び平成28年度の実績が0となっておりますが、事業があっても利用しにくいという状況が2年続いているということについてはどうお考えですか。

事務局 計画策定の際には、新制度移行後に保育施設を乱立することとならないよう、区域ごとの充足数を示しやすくするために18区域としました。しかし、実際には実態をもとに公募を行っており、細かい区域設定は必要ない状況となったことから市域を1つ

の区域といたしました。

利用者支援事業で増加する1箇所は子育て世代包括支援センターで、国の補助金で利用者支援事業の母子保健型を利用する必要があること、また、計画にも掲載する必要があることから変更するものです。

ショートステイについては、他のサービスで対応可能な場合や措置になるケースもあること、越谷市内に預け先の乳児院がないこと等が要因となり利用に結びつかなかったのではと考えております。

3-1) ③小規模保育事業（平成29年11月開設分）の公募結果及び認可・確認について

委員 基礎点の中では事業所の運営という項目が最も高い配点となっておりますが、その中でもどういった項目にどれくらい点数がつけられたのか、次回以降はその内訳についてもお示しいただきたいと思っております。

事務局 皆様にごくまでお示しできるのか精査した上で、次回以降お出しできればと思います。

3-2) ①平成30年4月開設予定の施設について

質疑等なし

3-2) ②保育所公募（第2次）の結果について

3-2) ③保育所公募（第3次）の中間報告等について

会長 市として周辺住民への周知は行っているのでしょうか。

事務局 施設に隣接する土地や周辺にお住まいの方々、自治会長には直接説明に出向き、その中で施設整備について意見が出た場合は市に報告してもらうこととなっておりますが、概ね御理解いただけているとの報告を受けております。

委員 小規模保育事業の公募については、詳細な点数等を掲載することは難しいのではと思いますので、こちらが判断しやすいような資料を掲載いただければと思います。

委員 開示ができるもの、できないものを明記していただいた方が判断しやすいのではと思います。

4 その他

※次回の分科会日程について事務局より連絡

議事終了 16:00